2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校

ミュージックアーティスト科/プレイヤーコース

キャリアプランニング2

対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	志鎌克彦/下條慧/小保方ひなの			実務 経験	有	職種	ディレクター				

授業概要

この講義では学生のスクールライフにおいて学校について知っておくべき事柄を周知すると共に、「人」として信頼されるような礼儀作法やマナーをクラス担任が伝えていく。日々当たり前になってしまっている事柄をひとつひとつ言葉の意味を解きながら説明することにより、その作業をする意義を学生たちが気づくよう、道徳のニュアンスを持たせながら説明していく。特に日々自分自身を振り返ることに軸を置いており、自分自身を顧みることにより俯瞰的な目線を持つようになる。これらを毎週3行の日記形式で手書ささせて提出させ、担任との意思疎通と学生状況の把握に繋げている。またポートなりなりなりなりなりによる。

到達目標

この講義では学生それぞれが社会に出る上で必要な自信をつけることを大切にし、学校生活を通じて社会性を身に付け、社会で受け入れられる礼儀 作法を習得することに重点を置く。挨拶をする意義を学び、現場で持拶ができることが当たり前になるよう指導をしていく。またマナーや礼儀は自分のためではなく、周囲にいる相手に対して行うことであることを理解させ、普段から身だしなみや言動に気を遣え、人に愛される現場人として活躍できる社会人を育成する。就職・インターンシップ情報を周知し、将来に繋がる学生生活が送れるようサポートするほか、3行日記の実施により文字を 書くことに対する抵抗を失くし、エントリーシートや履歴書に自分の気持ちをしっかり表すことができるようにする。

通年を通してPower Pointを使用した視覚に訴える講義を展開し、必要であれば紙資料を配布する。グループワークを取り入れて他の学生との情報 共有を行える環境づくりを行う。これにより1対1でテーマに応じて話すことに慣れ、面接対策に繋げていく。基本的に社会人として立ち居ふるまえる指導を行うため、挨拶や言葉遣いは厳しく指導を行っていく。キャリアサポートブックを活用し、1年次からは自己分析や振り返りの意義を伝え、 自分自身を俯瞰的に見れる視点を養う。

成績評価方法

試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価

成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価

平常点 積極的な姿勢

履修上の注音

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会に出れば交通機関が乱れようとも仕事に遅れないことが基本であるため、その認識を高める。また一般常識問題に関しては知らない単語や言葉が出てくることもしばしばあり、その日分からなかったことは講義にあたる担任に確認したり、自ら調べることを怠ってはいけない。コミュニケーション力を重視するため、仲が良い学生だけではなく普段関わりの薄い 学生とも交流を持ち、視野を拡げること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できな

教科書教材

毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

回数	授業計画			
第1回	気持ちを新たに目標を見直し、自分が学校においてすべきことを再確認する			
第2回	自分が設定した目標に対する想いをレポートにして可視化し、明確にする			
第3回	マナーや礼儀作法を身に付けなくてはならない理由を理解する			
第4回	席替えを実施してこれまで関わったことのない学生の他己紹介を行う			
第5回	これまで関わったことの無い学生の夏季休暇の過ごし方を聞き、それを第三者に伝える			
第6回	時事からテーマを設定し、それについてグループディスカッションを行う			

2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校						
ミュージックアーティスト科/プレイヤーコース						
キャリアプランニング 2						
第7回	ディスカッションした内容を他のグループに対してプレゼンテーションする					
第8回	学校のキャリアサポート制度を理解する。J-NAVIにログインし、求人票検索をしてみる					
第9回	就職活動の流れを理解する。企業採用とはどのようなものかを理解する					
第10回	過去の卒業生の進路先を参考に業界の企業を知り、2年次の合同企業説明会に備える					
第11回	エントリーシートの重要性を例を出して伝える					
第12回	学校指定フォーマット(左半分)を実際に記入し、自分の情報について認識する					
第13回	この1年をどのように過ごしたのか、行動年表と照らし合わせて振り返りレポートを作成する					
第14回	自己PRの作成に挑戦。専門科目、課外活動欄についてもこれまでの行動を振り返り記入する					
第15回	1年のまとめ					